

身体拡張 2018 公園デビュー

□ 展覧会概要

演劇、ダンス、音楽、ポエトリーリーディングなど身体を用いた多様な表現を行うアーティストを招聘し、アーツ前橋を舞台に、市民企画展を開催する。

前橋や近隣に住む様々な身体表現のジャンルの表現者（演劇、美術、詩、音楽）が集まり「身体芸術推進実行委員会」を発足し、各委員や委員により招聘された表現者のパフォーマンスや公演を行う。また市内を中心に身体を用いた表現活動を行う団体（演劇やダンスグループ等）などが、練習や公演の場として会場を使うことができる仕組みを導入する。

四半世紀にわたり前橋を中心とした演劇を見続けてきた清水保彦氏のチラシ・パンフレットアーカイブ「清水保彦コレクション」の展示を行う。

□ 会 期：

2017年2月2日（金） - 2017年2月18日（日） 開館日数：12日

□ 開館時間：11時～19時

□ 会 場：アーツ前橋 地下ギャラリー

□ 入 園 料：[一般]

全日程フリーパス：1,800円

1日フリーパス：1,000円

[割引] 学生、65歳以上、団体（10名以上）

全日程フリーパス：1,000円

1日フリーパス：600円

※高校生以下無料 ※木、金曜日：無料開放日

□ 主 催：身体芸術推進実行委員会

共 催：アーツ前橋

□ 参加作家：灰野敬二、和合亮一、新井隆人、大日向基子、OKANIWA、小出和彦、坂川善樹、中村ひろみ、村田峰紀、山賀ざくろ、ほか

□ 印 刷 物：■ポスター ■チラシ

□ 関連事業：① 和合亮一 朗読とトーク「こことはからだ」

日時：2月3日（土）14時～16時30分

会場：アーツ前橋地下ギャラリー

② 灰野敬二ライブパフォーマンス

日時：2月10日（土）時間未定

会場：アーツ前橋地下ギャラリー

③ 中村ひろみ ひとり芝居「初恋橋」

日時：2月9日（金）、11日（日）、12日（月）、15日（木）

17時～18時

会場：アーツ前橋地下ギャラリー

④ パフォーマンス 村田峰紀×村田桂吾

会期：2月11日（日）13時～15時

会場：アーツ前橋地下ギャラリーなど、会期中 39 程度の企画を上演・WSなど行う。

上記のほかに、来場者が参加できるプログラムなどイベントを多数開催。

□ 展覧会の特徴

- ① 表現者＝市民による企画、運営によって行われるイベント。そのため作家の選出、展覧会趣旨、展示構成などは作家同士の対話による行われる。
- ② ジャンルの隔たりなく身体を用いた表現として、演劇、ダンス、パフォーマンス、ポエトリーリーディング、音楽などの表現者を集め、公演を行うと共にクロスジャンルさせる。また、今回は活動場所やジャンルの異なる表現者が集まり、話し合いにより進める事業である。
- ③ 清水保彦氏の前橋市を中心とした演劇等公演のアーカイブ資料を展示することで、これまであまり伝えられることのなかった演劇界の蓄積を再発見し、後世へと伝える一助とする。

□ この事業が目指すもの

- ・地域の未来を担う若い世代、特に中高生らに前橋市で行われているさまざまな活動や表現者の存在と蓄積を伝え、身体表現の多様性を表すことと地域の魅力を知ってもらう。
- ・創作活動を目指す若者に、発表場所と可能性を与える。
- ・多様なジャンルの表現者を一同に集めることで、新たな市民客を獲得する。

□ フィジカルセンセーション（実施済）

主催：身体芸術推進実行委員会

日時：11月4日（土）11：00～20：00

11月5日（日）11：00～17：00

出演者：大道芸パフォーマー、沢入サーカス学校卒業生・在校生、

前橋商業高校吹奏楽部

場所：中央イベント広場ステージ、中央通り商店街、銀座通りなど

内容：吹奏楽の演奏、サーカスなどに出演するパフォーマーのステージを行った。

身体拡張 2018

2018/2

2 (金)

3 (土)

4 (日)

8 (木)

9 (金)

10 (土)

11 (日)

12 (月・祝)

15 (木)

16 (金)

17 (土)

18 (日)

開園時間

11:00 ~ 19:00 (入園は 18:30 まで)

※各イベントにより開始時間は異なります。

入園料

【一般】

全日程フリーパス：1,800 円

1 日フリーパス：1,000 円

【割引】 学生、65 才以上、団体 (10 名以上)

全日程フリーパス：1,000 円

1 日フリーパス：600 円

※高校生以下無料

※木・金曜日 | 無料開放日

休園日

2月12日 (月・祝) を除く月・火・水曜日

主催 身体芸術推進実行委員会

共催 アーツ前橋



<http://artsmaebashi.jp/>

詩 / パフォーマンス / DJ / 演劇 / 音楽 / ダンス



あの公園は太陽がないかわりに詩がこころの奥底に光をおくり、
照らし出されたことばがセリフとなって演劇をつくる。
風が吹かないかわりに音楽の躍動がからだをふるわせ、それがダンスになる。
あの公園であつまろう。

アーツ前橋にこの冬、身体表現の公園が開園します。

この公園では週末を中心に演劇や音楽、詩の朗読やダンス、パフォーマンスなど身体表現の「上演イベント」がたくさんありますが、誰でも自分の身体表現を練習したり発表できる「公園デビュー」ができちゃいます。公園のルールを守ればどなたでも参加OK。技を磨いたり新しい表現に出会ったり、でも何もしないでぼんやりするのもいいですね、公園ですから。

開園を前にわたしたちは想像します。

この公園に来る人はどんな人だろう。演じる人、それを見る人、遠くから様子を窺う人、ぱったりそこで出くわしてしまう人、ただなんとなくそこにいる人。いろいろいるけどみんな公園利用者です。そこで出会う様々な表現や人が、たがいの立場からすこしはみ出して、なにか新しい関係を結んだり、異なる表現を作り出したりしたら面白いとおもいませんか。

ちょっと想像してみてください。

たとえば長い園路をむこうから歩いてくるあなたの姿

たとえばそのベンチに腰かけて本読むあなたの姿

たとえばそこに転がっているボールをなんとなく拾うあなたの姿

そこに誰かが声かけた瞬間、知らない言葉や音楽と出会った瞬間、身体の中と外からなにかが始まり動き出します。

それをわたしたちはあたらしい身体表現の風景とよびたいのです。

もちろんあなたの世界一の身体表現もウェルカムですよ、公園ですから。

和合亮一 朗読とトーク「こころはからだ」



日時：2月3日(土) 14:40 - 16:30
東日本大震災後ツイッターで「詩の礫」を発表。遠藤ミチロウ、大友良英等と「プロジェクト FUKUSHIMA!」を開始する等、福島から発信を続ける和合亮一の朗読とトーク。

灰野敬二 ライブパフォーマンス

日時：2月10日(土) 時間未定
多様なスタイルで国際的に活動している灰野敬二によるライブパフォーマンス。世界的な評価を集めるも尚自身の表現を追求する真のアーティストのパフォーマンスをお見逃しなく。



●オープンマイク in アーツ前橋

日時：2月4日(日) 13:00 - 15:00
音楽、ダンス、演劇、コント、パフォーマンス、ポエトリリーディング……。自由な表現の場を提供します。1組の持ち時間は15分。事前エントリー制(出演に際し入園料が必要)。
※エントリーはアーツ前橋に電話で事前に申し込み Tel.027-230-1144

●公園セッション

日時：2月4日(日) 11日(日) 15:00 - 17:00 18日(日) 16:30 - 18:30
毎週日曜日に「公園」で開催される即興セッション。パフォーマンス、演劇、ダンス、楽器演奏、ポエトリリーディング、DJ etc. 誰でも参加OK! 楽器等の持ち込みも大歓迎!

●パフォーマンス「村田峰紀 × 村田桂吾」

日時：2月11日(日) 13:00 - 15:00
音楽に狂い続けている兄、村田桂吾とパフォーマンスで狂い続ける弟、村田峰紀の2人に流れる同じ血、熱量のぶつかり合い、公開兄弟喧嘩。音と身体のパフォーマンスイベント!

●中村ひろみ ひとり芝居「初恋橋」

日時：2月9日(金) 11日(日) 12日(月) 15日(木) 17:00 - 18:00
山村を訪ねた女に向けて語られる老婆の思い出話。村の橋にゆかりのあるその男とは誰なのか。石山幸弘が中村ひろみの為に書き下ろした戯曲の初演。

●アバンギャルズ2018 山賀ざくろセレクション

日時：2月17日(土) 13:00 - 15:30
クレージーダンスのAbe "M" ARIA、舞踏の今貂子、コンテンポラリーダンスの小暮香帆、ミュージカルユニット cabo、クラウンのラブリー恩田。必見のラインナップ!

●軋轢オーケストラ

日時：2月18日(日) 13:00 - 16:00
前橋周辺の民族音楽、ノイズ、セッション系ミュージシャンが一堂に会し、フリーセッションを展開。ポエトリリーディング等も加わり、アーツ前橋が大きな表現の渦に包まれます。

●その他の出演者

- | | |
|---------|-------------|
| 新井隆人 | びったと仲間たち |
| 大日向基子 | アビシェイカー |
| OKANIWA | OMEGA POINT |
| 小出和彦 | carry 音 |
| 坂川善樹 | kuku |
| 武藤大祐 | 國崎理嘉 |
| 荒井正人 | KPC |
| 清水保彦 | 佐藤あつし |
| 白川昌生 | 鈴木伸一 |
| 郡司厚太 | 絶望グロテスク |
| 酒井一有 | にれいとしゆき |
| 西原 尚 | 内藤奈美 |
| 灰ホトラ | てあしくちる |
| 荒木聡志 | Rinn |
| 八木隆行 | 月映 and more |

*開催期間中は上記のイベントの他に、演劇やダンスなどの上演や音楽ライブ、ワークショップ、フォーラム、シンポジウムなど、多数のイベントの実施を予定しています。詳細はアーツ前橋のホームページをご覧ください。

アーツ前橋

〒371-0022 群馬県前橋市千代田町5-1-16
TEL: 027-230-1144 FAX: 027-232-2016
5-1-16, Chiyodamachi Maebashi Gunma 371-0022
URL: <http://artsmaebashi.jp/>
E-mail: artsmaebashi@city.maebashi.gunma.jp

【公共機関】
JR前橋駅から徒歩約10分
上毛電鉄 中央前橋駅から徒歩約5分
【自動車】
関越自動車道 前橋ICから車で約15分



□マークの駐車場のご利用に際しては、駐車券に4時間無料の割引処理をいたします。

◎ 同時開催

「コレクションII 彼女たちのまなざし」

2018年2月2日(金) - 3月4日(日)
アーツ前橋 1F ギャラリー 入場無料
水曜休館

コレクションⅡ展 彼女たちのまなざし※

*副題は調整中

展覧会の概要

アーツ前橋では、地域ゆかりの作家や展覧会などのアーツ前橋の事業に参加した作家を中心に作品を収集しています。本展では、収蔵品の中から、女性をモチーフにした近代の洋画・日本画作品とともに、群馬ゆかりの女性作家による表現をご覧ください。中村節也や清水刀根の女性を描いた油彩画から、コラージュの要素を組み込んだ塩原友子の前衛的な日本画、絹を素材とした寺村サチコの立体作品まで、幅広いジャンルや時代の作品と出会い、美術をめぐる多様な視点を読み解く展示です。

□会 期：2018年2月2日（金）～3月4日（日） 開館日数：27日

□開館時間：11時～19時

□休 館 日：毎週水曜日

□会 場：アーツ前橋 ギャラリー1

□観 覧 料：無料

□主 催：アーツ前橋

□出品点数：18点

□出品作家：木原千春、塩原友子、清水刀根、田中青坪、寺村サチコ、中村節也、南城一夫、三輪途道

□印 刷 物：■ポスター：1,200部《A3判縦》

□関連イベント：

①こどもアート探検

日時：2月24日（土）14:00～14:30

集合場所：アーツ前橋1階総合案内前

参加費：無料

対象：小学生以下

②学芸員によるギャラリートツアー

日時：2月24日（土）14:00～14:30

3月3日（日）14:00～14:30

集合場所：アーツ前橋1階総合案内前

参加費：無料

主な出品作品



中村節也《画室》1932(昭和7)年 油彩、カンヴァス



塩原友子《母岩》 1968年 墨、和紙、岩絵具、板



寺村サチコ《(1/2)2》 シルクオーガンジー

Art Meets 05

菊池 敏正 / 馬場 恵

□会 期：2018年3月17日（土）～5月29日（火） 64日間

□開館時間：11時～19時

□休館日：毎週水曜日

□会 場：アーツ前橋 ギャラリー1

□観覧料：無料

□主 催：アーツ前橋

□参加作家：菊池 敏正、馬場 恵

□印刷物：■チラシ：30,000部／■リーフレット：3,000部

□内容

アーツ前橋は、さまざまな人々がここでアートに出会い、アートを通じて創造的な日常を発見し、多様な考え方や感性に触れていただくことを目的に、中堅アーティストを紹介する企画展「Art Meets」を開催します。第5回は菊池敏正(1979年生まれ)と馬場恵(1969年生まれ)です。

□作家略歴

菊池敏正

1979年愛媛県生まれ、東京都在住。2008年東京芸術大学大学院文化財保存学保存修復彫刻専攻博士課程修了。同校・保存修復彫刻専攻教育研究助手を経て、2009年より東京大学総合研究博物館インターメディアテク研究部門特任助教。

主な個展に、2012年「Neo Authentic」Showcase (MEGUMI OGITA GALLERY、東京)、2014年「Rational and Irrational」(MEGUMI OGITA GALLERY、東京)、2016年「対峙する客体 -形態の調和と造形-」(POLA MUSEUM ANNEX、東京)。

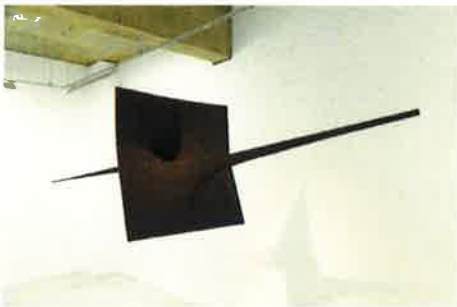
主なグループ展には、2011年「驚異の部屋—写真家上田義彦のマニエリスム博物誌」(国立台湾芸術大学芸術大学博物館、台湾／ガダーニュ美術館、リヨン)、「形與力-形態の多様性」(国立台湾大学総合図書館、台湾)、2012年「XYZ」(中村ケンゴ ディレクション)(MEGUMI OGITA GALLERY、東京)、「CABINET DA-END 02」(Galerie DA-END、パリ)、2013年「『翔』自然から飛び立つ4人展」(ギャラリー碧、栃木)、2014年「現代の肖像」(銀座三越8Fギャラリー、東京)、「ANKOKU dark matters」(Galerie DA-END、パリ)、2017年「パースペクティブ現代美術実験展示」(インターメディアテク、東京)、「Lustrous Surfaces」(ヴィクトリア&アルバート博物館、ロンドン)など。2004年「平山郁夫賞」、2005年に「サロンドプランタン賞」受賞。



《Geometrical Form-041-048》2017年 檜、漆、顔料 サイズ可変



《Figurative Form-018》2015年 檜、漆、顔料 65×20×20cm



《Geometrical Form-012》2014年 檜、漆、顔料 347×80×80cm

馬場恵

1969年埼玉県生まれ、埼玉県在住。1993年創形美術学校版画科卒業。2004年ノーリッチ美術大学と阿佐ヶ谷美術専門学校とのレジデンスプログラムにてノーリッチ美術大学版画工房(イギリス)に滞在。主な個展に1997年「Tea + Garden」(コネクションスクエア、東京)、2001年「Shape-Forms from Plants and Minerals」(楓画廊、新潟)、2005年「Project N20 "Chemical Garden"」(東京オペラシティーアートギャラリー、東京)、2009年「EXPERIMENT」(Art space 88、東京)、2011年「metaspecies」(GARELIE Malle、東京)、2015年「Entropy/Life」(art gallery closet、東京)、2016年「自然のための驚異の部屋」(ウサギトネコ、京都)など。

グループ展には、2004年“LOCUS 2004”(ノーリッチ美術大学、ノーリッチ)、2005年“ANTS Book work Exhibition”(bookart bookshop、ロンドン)、2010年“Re birth”(Art 18/21、ノーリッチ)、2011年「東日本大震災復興支援チャリティーアート展」(gallery COEXIST-TOKYO、東京)、2012年「花に集う」(渋谷パルコ・パルコギャラリー、東京)、2013年「中之条ビエンナーレ 2013」(六合地区・湯本家、群馬)に出品し、2014年「中之条ビエンナーレ・プレイベント“六合 七月 小径”」、2015年「中之条ビエンナーレ 2015」(六合地区・湯本家、群馬)。2017年「人口と自然のはざま」展(アートステージ、大阪)など。



《Meta-species》 2011年 エッチング、ポリエステルプレートにコラージュ、紙 70×50cm



《Symbiosis》 2015年 エッチング、ポリエステルプレートにコラージュ、紙、紐
約 180×200cm

「横堀角次郎と仲間たち」(仮称) 展

【会 期】 2017年3月17日(土)～5月29日(火) 64日間

*4月25日(水)に一部展示替えを予定

【開館時間】 11時～19時(入館は18時30分まで)

【休 館 日】 水曜日

【会 場】 アーツ前橋 地下ギャラリー

【観 覧 料】 一般:500円/学生・65歳以上・団体:300円/高校生以下:無料

障害者手帳等をお持ちの方と介護者1名は無料

※4月8日(日)は無料(FMぐんまツナガリズム祭り)

※以下の条件でご来館の方は、300円

トワイライト割:17時以降に来館された方

【主 催】 アーツ前橋

【後 援】 上毛新聞社、朝日新聞社前橋総局、毎日新聞前橋支局、読売新聞前橋支局、産経新聞前橋支局、東京新聞前橋支局、日本経済新聞社前橋支局、共同通信社前橋支局、時事通信社前橋支局、群馬テレビ、FM GUNMA、まえばし CITY エフエム、前橋商工会議所(※予定)

【趣 旨】

本年度の個展枠では、群馬県勢多郡大胡町(現前橋市)生まれの画家、横堀角次郎(1897-1978)を取り上げる。横堀は17歳で上京し、椿貞雄とともに岸田劉生の草土社に参加し、その後は春陽会への出品を続けたほか、県内では群馬美術協会の発足に関わり、前橋中学の同級である磯部草丘や森村西三とともに三酉会を結成した。本展覧会では、写実描写を基調とした青年期の作品から、赤城山を描いた作品群、「木黄」名で制作した日本画など、初期から晩年にいたる作品を紹介する。横堀の芸術は、草土社時代の細密描写を別にすれば、生涯穏健な自然描写に徹したものであった。

本展覧会では、岸田劉生や椿貞雄といった草土社の画家たちや、春陽会の小杉未醒、三岸好太郎、三酉会の磯部草丘、森村西三など、横堀が所属した美術団体やグループの作家たちを加えて構成し、近代洋画史における横堀の画家としての位置を探る。

なお本展は、1984年に群馬県立近代美術館で「横堀角次郎作品展」を担当した染谷滋氏がゲストキュレーターとして、展覧会の構成や図録の監修を行う。

【本市収蔵作品】

《自画像》1916年

《代々木風景》1928年

《ノートルダム寺院》1956年

《赤城山》1959年

《花》1978年

【主な出品作品】

《細き道》1917年 第5回草土社展 群馬県立近代美術館

*群馬県立近代美術館からは、横堀作品●点を借用

《切通し》1919年 第7回草土社展 ハラサワコレクション

《赤城山》1960年 個人蔵

《東大三四郎池》1967年 第44回春陽展 秋山コレクション

【横堀以外の出品作家】

岸田劉生、椿貞雄、河野通勢、中川一政、木村荘八、小杉未醒、森田恒友、山本鼎、倉田
白羊、梅原龍三郎、石井鶴三、三岸好太郎、倉田三郎、鳥海青児、磯部草丘、森村西三、
北村明道、南城一夫、清水刀根、中村節也、神保和幸 以上21名

【関連事業(案)】*調整中

①講演会「横堀角次郎について」(仮)

講師：染谷滋(本展ゲストキュレーター)

日時：4月15日(日)14時～16時

会場：アーツ前橋 スタジオ

②講演会「横堀角次郎がいた時代」(仮)

講師：原田光(美術史家、元岩手県立美術館館長)

日時：5月19日(土)14時～16時

会場：アーツ前橋 スタジオ

③レクチャー「横堀角次郎展について」【調整中】

講師：担当学芸員

日時：3月末から4月上旬

会場：大胡公民館または大胡シャンテ

④ワークショップ「風景を描く」

講師：衣真一郎

日時：1日目 3月24日(土) / 2日目 3月25日(日)

会場：1日目 大胡総合運動公園 / 2日目 アーツ前橋ギャラリー・スタジオ

内容：1日目は横堀が描いた場所でスケッチし、翌日はその作品と展覧会で鑑賞する。

⑤すてきな子どもたちによる弦楽アンサンブル演奏会

日時：5月20日(日)14時～15時

会場：ギャラリー2

出演：前橋西ロータリークラブの児童・生徒19名

⑥担当学芸員によるギャラリーツアー

日時：3月31日(土)、4月16日(月)、4月27日(金)、5月13日

14時から15時(4月27日は18時から19時)

⑦おしゃべりアートウィーク【調整中】

日時：5月14日(月)、5月22日(火)

日時：5月14日（月）、5月22日（火）

【図録】

展覧会図録を発行予定（部数、価格は調整中）



《代々木風景》1928（昭和3）油彩・カンヴァス



《自画像》1916（大正5）油彩・板

